

第3学年 道徳学習指導案

日 時 平成17年10月28日(金) 1校時
対 象 1組(男18名 女16名 計34名)
指導者 小山 和代

1 主題名 命を大切に [生命尊重3 - (2)]

2 資料名 幸江のしゅじゅつ 出典：東京書籍「明るい心で」3年

3 主題設定の理由

(1) 価値について

本主題は、第3学年及び第4学年の「主として自然や崇高なものとのかわりに関すること」の(2)「生命の尊さを感じ取り、生命あるものを大切にする。」をねらいにしている。

一人の人間は一つの命しかもっていない。「生命の尊さを感じ取り」とは、このたった一つのかげがえのない命を大切にし、尊ぶことであると考え。また、一生懸命生きることやそれを助けたいと思う心情が命を大切にする心へと育っていくものである。命の尊さを意識せずに粗末に扱ってしまうことのないようしていくためにも、生命の尊さや生きていることのすばらしさを自覚させていくことは大切なことである。

この期の児童は、極めて行動的で、活発なことを好むようになってくる。元気に任せた衝動的な行動が多く、周りの人々に心配や世話をかけることもしばしばある。このような子どもたちは、日ごろは生命の大切さや健康の大切さを意識しないで生活していると思われる。

(2) 児童について

全体的に明るく元気いっぱい活動的な子どもたちである。仲間意識も徐々に芽生えてきて、友達の輪も広がってきた。第2学年では、「いのちきらきら」の学習を通し、自分の生命の大切さや家族の愛情について理解を深めている。

しかし、些細なことでけんかをしたり悪口を言ったりしてお互いに傷つけあう場面も見られる。このような様子から心を傷つけることは、命を傷つけることにもつながるということには、まだ気付かないでいると思われる。また、核家族化のもと肉親の死に接することも少なく、生命の大切さはある程度自覚しているものの、「死」というものが意味することを実感としてとらえている児童はあまりいない。さらに、自分の命だけでなく他者の命を大切にしようとする意識は、薄いと考えられる。

そこで、大きな手術を控えた人間の気持ちや、周りのものが取るべき行動を考えさせることにより、生命あるものを大切にしようとする気持ちを高めていきたい。

(3) 資料について

転校生の幸江は心臓病のため、体育も休んでいる。隣の席の紀男は、「早くしろ。」とどなるが、その後で先生から幸江は手術をすること、そして手術の結果しだいで命がどうなるかわからないことを知らされる。心臓病でありながらも精いっぱい生き、手術を受ける幸江に対し、クラスみんなが手紙を書いたり、献血する親が出たりする。いたずらばかりする紀男も、幸江のために尽くしていくという内容である。

紀男の表情の変化に気付かせ、紀男の心情について話し合うことによって生命の尊さを感じ取り、生命あるものを大切にしようとする心情を感得することができる適切な資料であると考え。

(4) 指導にあたって

事前の道徳の学習では、「大切なもの」とは、自分自身が「今、生きていることである。」ということについて学んだ。

気づく段階では、心音を聞かせて心臓に関心をもたせるとともに、心臓は、生死に関わ

ることに気付かせたい。

見つめる段階では、資料から紀男の相手のおかれている状況を考えない自己中心的な行為を把握させたい。その紀男が先生の話の聞いて神妙な顔になり、お母さんが献血すると聞いてにっこりした気持ちの変化を考えさせたい。

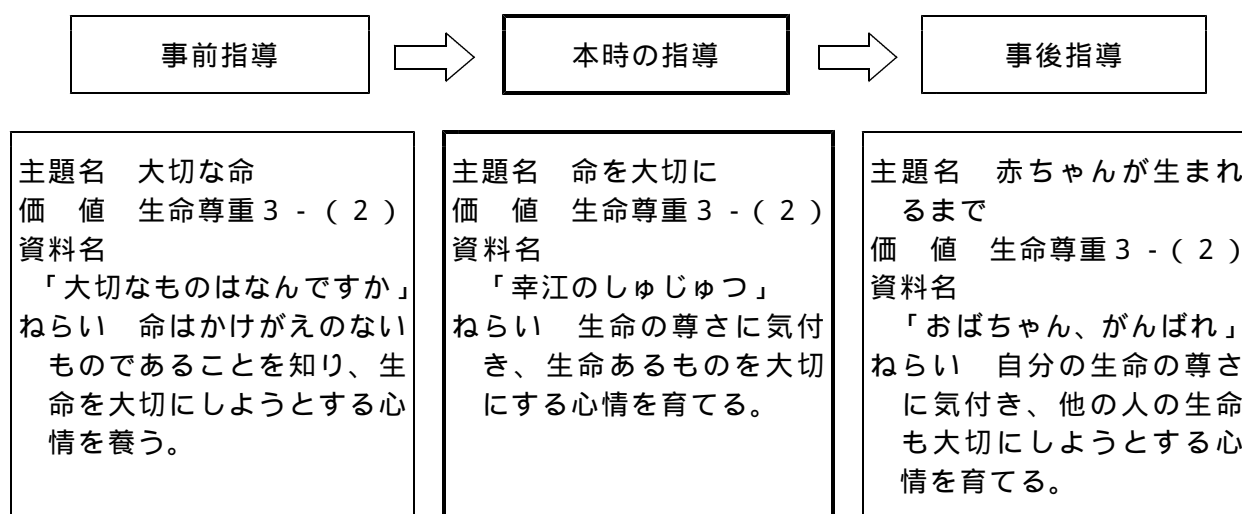
つかむ段階では、幸江に自分で手紙を届けたいというようになるまでになった紀男の心情の変化を通して生命の大切さを感じ取らせたい。

広げる段階では、生命を大切にしている体験を身の回りの出来事や学校生活などにも広げ、押さえていきたい。

まとめる段階では、生きている喜びを感じ命を大切にしようとする心情を高め余韻に浸らせていきたい。

この学習を通し、自分の生命の尊さに気付き、他の人の生命も大切にしようとする心情を育みたい。

4 本時指導の位置付け



5 本時の指導

(1) ねらい

生命の尊さに気付き、生命あるものを大切に育てる。

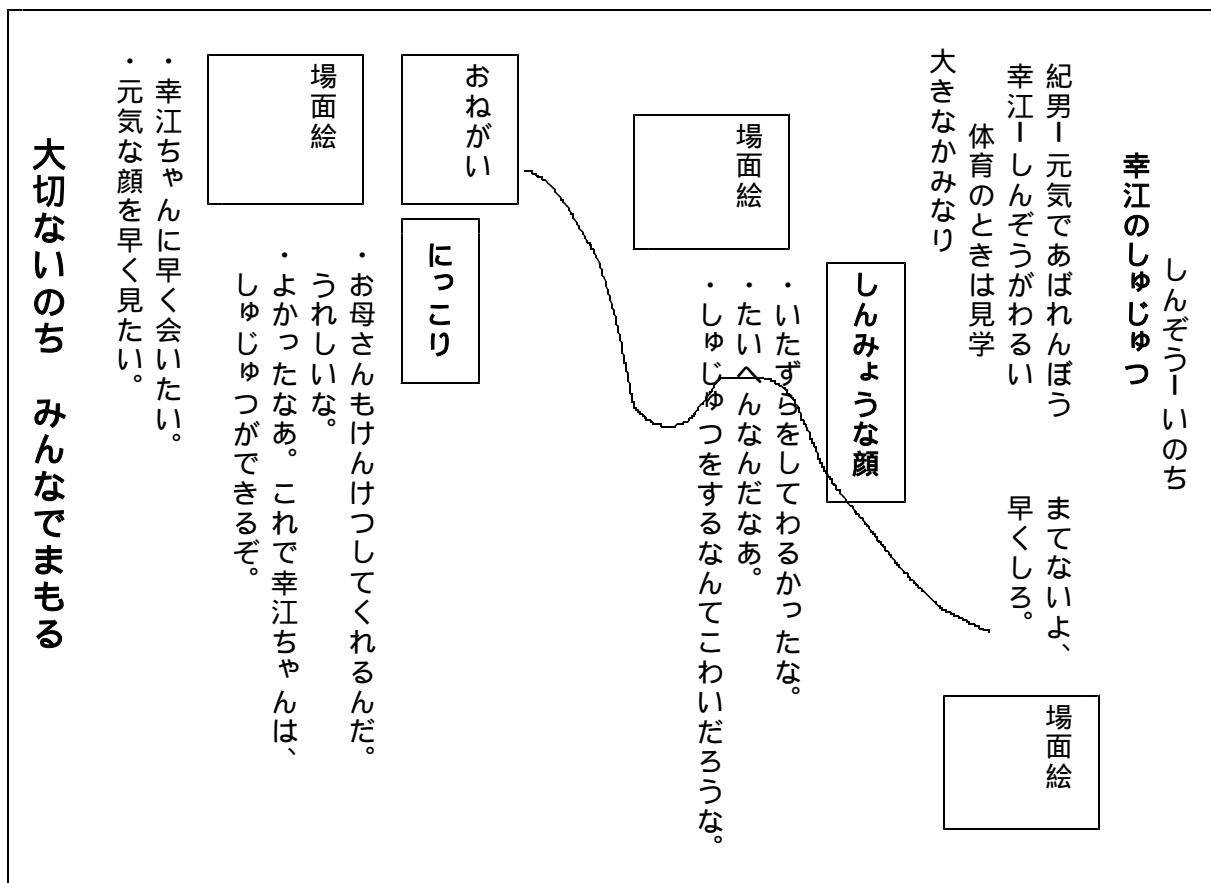
(2) 展開の概要

段階	学習活動と主な発問	予想される発言や心の動き	指導・援助の留意点
気づく	<p>1 心音を聞き、心臓について関心をもつ。 心臓は大切なものだけどどうして大切なのですか。</p> <p>今日は、心臓の手術を控えた女の子のお話を学習します。</p> <p>2 資料を読み、感想を発表する。 思ったことや考えたいことを発表しましょう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・心臓が動いているから、生きている。 ・心臓が止まったら、死んでしまう。 ・紀男が幸江にどなったりいたずらをしたりして幸江がかわいそうだと思った。 ・先生が大きな雷を落として 	<ul style="list-style-type: none"> ・心音を聞き、心臓に関心をもたせるとともに、心臓が止まると死んでしまうことに気付かせる。 ・感想発表を通してあらすじを確認し、課題に結びつける。

12分		<p>怖かった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・紀男がお母さんに「献血する」と聞いてやさしいと思った。 ・最初は、どなったり、いたずらをしたりしていた紀男がやさしくなったのはどうしてだろう。 	
見つめる	<p>3 「幸江のしゅじゅつ」を読んで話し合う。</p> <p>紀男は、どんな男の子でしょう。</p> <p>先生が幸江の病気のことを話したとき、紀男も神妙な顔で聞いていました。どんなことを思いながら聞いていたのでしょうか。</p> <p>紀男はお母さんも献血すると聞いてにっこりしました。どんな気持ちからにっこりしたのでしょうか。</p> <p>紀男が自分の書いた手紙を自分で持っていきと言い出したのは、心の中にどんな思いがあったのでしょうか。</p> <p>紀男は、幸江の手術を通して、どんなことを考えたのでしょうか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・元気であばれんぼう。 ・幸江に大声でどなったり、いたずらばかりしている。 ・大変なんだなあ。 ・どなったり、いたずらをしたりして悪かったな。 ・手術するなんて怖いだろうな。 ・お母さんも協力してくれるんだ。うれしいな。 ・よかったあ。これで幸江ちゃんは、手術ができるぞ。 ・お母さんが献血することを知ったら、幸江ちゃんは喜ぶだろうな。 ・きっと幸江ちゃんの命は助かるぞ。 ・幸江ちゃんに早く会いたいなあ。 ・幸江ちゃんの元気な顔を早く見たいなあ。 ・幸江ちゃんに今までのことを謝りたいなあ。 ・病気の人には、優しくしなければいけないんだ。 ・みんなで幸江ちゃんの命をまもることができるんだ。 ・人に優しくすることが命を大切にすることなんだ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・資料から紀男の性格をとらえさせる。 ・先生の言葉ではっとする紀男の心の中をじっくりと考えさせる。 ・自分のことのように喜んでいる紀男の素直な気持ちに共感させたい。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>板書を工夫して周りの心の変化やP.T.Aからのお願いのプリントなどからみんなが幸江の命を助けようとしている気持ちに気付かせる。</p> </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>板書を使って紀男の心情の変化を振り返り、幸江の手術を通して紀男が考えたことをとらえさせる。</p> </div>
つかむ			
28分			

<p>広げ る 3 分</p>	<p>4 命の大切さについて話し合う。 今までに命の大切さを感じたのは、どんなときですか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・自分が病気をしたとき看病してくれたとき、大切にされていると思った。 ・飼っていたペットが死んだとき。 ・テレビで多くの人が亡くなった事件を見たとき。 	<ul style="list-style-type: none"> ・身の回りや学校生活などにも広げ生命の大切さを押さえる。
<p>ま と め る 4 分</p>	<p>5 命を大切に話を聞く。</p>		<ul style="list-style-type: none"> ・生きている喜びを感じている話、精一杯一日一日を過ごしている人の話など、わかりやすく話す。

6 板書計画



7 資料分析

資料名 幸江のしゅじゅつ 出典 東京書籍(「明るい心で」3年)

ねらい 生命の尊さに気付き、生命あるものを大切にする心情を育てる。

場面	紀男が幸江に向かって大声でどなる場面	先生が幸江の病気について詳しい話をする場面	紀男が母も献血すると聞き、にっこりする場面	幸江にみんなで手紙を書くことにした場面
外的状況と主人公の心の動き	<ul style="list-style-type: none"> ・元気で暴れん坊。 ・幸江に大声でどなったり、いたずらばかりしている。 ・「待てないよ、早くしろ。」 ・いらいらするな。 ・もたもたするな。 <p>自己中心 じれったさ いらだち わがまま</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・神妙な顔 ・2、3日もすると、相変わらず幸江にいたずら ・どなったり、いたずらをしたりして悪かったな。 <p>反省 心配 照れくさい 驚き</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「献血する？」 ・にっこり。 ・「うちでも献血するって。」 <p>生命尊重</p> <ul style="list-style-type: none"> ・お母さんも協力してくれる。うれしいな。 ・これで幸江ちゃんは手術ができるぞ。 <p>友情 思いやり 安心</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・自分で書いた手紙は自分で持っていきと言ひ出す。 <p>生命尊重</p> <ul style="list-style-type: none"> ・幸江ちゃんに早く会いたいな。 ・幸江ちゃんの元気な顔を早く見たいなあ。 <p>思いやり 願望</p>
児童の意識	<ul style="list-style-type: none"> ・幸江がかわいそう ・紀男はどうして幸江をいじめるのかな。 ・紀男は意地悪だな ・やさしくしてあげたらいいのに。 	<ul style="list-style-type: none"> ・紀男も反省しているみたいだ。 ・幸江は、大変なんだなあ。 ・手術をするなんて怖いだろうな。 ・紀男は、なんでまたいたずらをするんだろう。 	<ul style="list-style-type: none"> ・紀男もいいところがあるな。 ・紀男は、幸江のことを心配しているんだ。 ・紀男のお母さんも幸江の命を助けたいと思っているんだ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・人に優しくすることが命を大切にするこゝとなんだ。 ・病気の人には、優しくしなければいけない。
発問	紀男は、どんな男の子でしょう。	紀男は、先生の話をもんなことを思いながら聞いていたのでしょうか。	紀男は、どんな気持ちからにっこりしたのでしょう。	紀男が手紙を自分で持っていきと言ひ出したのは、どんな思いがあったのでしょうか。紀男は幸江の手術を通して、どんなことを考えたのでしょうか。